

(令和7年度)  
自己評価書

園番号	園名
703	左京こども園

703左京こども園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
I 教育・保育活動に関するもの	(1) 教育・保育目標/計画	① 教育・保育目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の教育目標の達成を目指し、全体的な計画を作成し共通理解をする。</li> <li>指導計画について職員で話し合う。</li> <li>子どもの発達に応じた教育・保育活動を計画、実施する。</li> <li>保護者アンケートを実施し、教育活動の検証をする。</li> <li>学校評議員の方に学校関係者評価を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画を基に、園の研究主題について全職員で話し合い、共通理解をして取り組むことができた。</li> <li>各年齢の発達の姿を的確に捉え、個々の発達段階に応じた援助を行い、教育・保育の充実に努めた。</li> <li>月に反省・評価をすることで、次年度への課題を見出すことに繋がった。</li> <li>アンケートを実施し、100%の回答率で保護者の方から高い評価を得ることができた。</li> <li>学校評議員の方からも高い評価を得ることができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的な計画・園目標に基づいて子どもの園での生活や遊び、行事などの中で、教育目標が達成できるように意識して取り組むことができた。</li> <li>アンケート等から教育・保育活動の取り組みについて、保護者や地域の方からの理解が深まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>奈良市こども園カリキュラムに基づき発達段階に沿った教育課程を作成し実践した。今後も3.4.5歳児の発達過程を正しく捉え教育・保育の在り方を明確化できるように取り組んでいく。</li> <li>保護者の方々からの意見を受け止め、改善策を話し合い、教育・保育の質の向上に努めていきたい。</li> </ul>
		② 教育・保育計画の作成					
		③ 教育課程/全体的な計画の編成					
		④ 教育・保育活動の評価					
	(2) 教育・保育内容/指導	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>“おもしろそう”の芽を育み、“やってみよう”と心を弾ませ遊ぶ子どもをめざして～子どもの姿から保育者の援助や環境構成の在り方を探る～を研究主題として取組み、教育・保育の質の向上を目指す。</li> <li>日々の保育を振り返るだけでなく事例「でいあシート」を用いて職員間で話し合う機会をもち、多角的に子どもを見取る力や専門性を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究主題に基づき、発達や子どもの興味関心に応じた保育内容となるよう環境を整えることで、子どもが「やってみよう」と心を弾ませ、意欲的に遊ぶ姿に繋がった。</li> <li>園内研修や事例を用いた話し合いを重ねることで、保育内容や環境構成、援助の工夫や改善に繋がった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導計画を基に、年齢・発達段階・個々の特性を踏まえた関わりができていくかどうか。</li> <li>研究主題に沿って、子どもが自ら遊びを選び、試したり工夫したりできる環境づくりの探求、保育者の援助等の改善に努めたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目指す子ども像を再確認し、指導計画と保育実践とのすり合わせを行い、年齢・発達段階・個々の特性を踏まえた関わりができるよう話し合う機会を充実させたい。</li> <li>園の研究主題を意識して日々の保育や教材研究を進めていくようにする。</li> </ul>
		② 保育内容の精選					
		③ 指導方法の工夫改善					
		④ 評価					
	(3) 園行事	① 指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>園、家庭、地域がつながる園行事を構築し、より豊かな経験ができるようにする。</li> <li>前年度の反省・評価をもとに、内容の精選に努め必要な経験ができるようにする。</li> <li>行事と保育とのつながりを意識しながら、計画的に保育を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間で共通理解し、各担当者が核となり計画・立案し取り組みを進めることができた。</li> <li>行事について何を大切に考えねらいをもって実施していくのかを、職員間で相談し共通理解し進めた。</li> <li>子どもたちの思いや考えを引き出し、子どものもっている力を十分に出せるような取組になってきている。また、地域との繋がりを深めることができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>園行事が、子どもにとってどのような学びにつながるのかを検討し、望ましい行事の構築に努めることができたかどうか。</li> <li>園行事は子どもの発達や経験を重視し、日々の保育とつながりのある内容となるよう、工夫しながら行っているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事の評価反省を行い、行事の精選や実施の方法を検討していく。</li> <li>子どもたちがより豊かな経験ができることを重視した行事の計画を立てていく。</li> <li>保護者、地域との連携を図りながら子ども達の生活が豊かになるよう、見直しをもって計画していきたい。</li> </ul>
		② 行事内容の精選					
	(4) 人権教育	① 人権教育指導計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者の人権意識を高め、全ての子どもを一人の人格として尊重し、安心して過ごせる教育・保育を進める。</li> <li>自分を大切にすると共に、相手の気持ちに気付き、思いやりの気持ちが育つような保育を立案し取組を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者も人権についてのセルフチェックを行い、保育の振り返りに活かすことができた。</li> <li>子どもが自分の思いや考えを出し合うことで、相手の思いにも気付くことができるようになり、お互いを認め合い、協力し合える人間関係の基礎づくりができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの行動、言動に留意するとともに、保護者の思いや願いを受けての指導になっているかを考慮し、取組を進めることができたかどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員一人一人の、子どもへの言葉かけや接し方など人権を尊重した意識を持った関わりが行えているかどうかをセルフチェックし、自分の保育を見直すと共に、園全体での人権教育を継続して進めていく。</li> </ul>
		② 保育内容の精選					
		③ 指導方法の工夫改善					
	(5) 生徒指導	① 組織的な指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>対処方針や指導計画が明確である</li> <li>日頃より実態把握・早期発見に努めている</li> <li>各学級の状況を園組織として共有できている</li> <li>保護者や地域と連携できている</li> <li>組織的に迅速に対応する体制が整備されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告・連絡・相談を密に行い、職員が皆同じ思いで子どもや保護者に関わることができた。</li> <li>登園時に個々の子どもや保護者に声を掛け、様子を見て必要に応じて相談にのるなどして連携に努めた。</li> <li>クラス担任、預かり保育担当者、未就園児保育担当者、特別支援教育支援員が連携を取り合い、子どもの様子を日々共有できるようにした。</li> <li>気になる様子や行動が見られた時には、記録をとり状況を園全体で把握し、園全体の問題として対応できるようにした。</li> <li>休み連絡のないところには必ず連絡を入れ、休みが続かないように配慮した。</li> <li>関係機関と連携を取り情報を共有した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもや保護者の思いに寄り添い、思いや願いに応じた対応ができるように意識して取り組めたかどうか。</li> <li>子ども一人一人の様子を十分に把握するように意識したか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登降園時に保護者に園の様子を伝えて連携を深めると共に、信頼関係がより一層深まるようにする。</li> <li>バス通園の児の保護者に対しては、連絡表を活用して連携を取り、信頼関係を深める必要がある。</li> </ul>
		② 教育相談・幼児理解					
		③ 家庭との連携					
		④ 関係諸機関との連携					
		⑤ いじめ・児童虐待問題について					
	(6) 特別支援教育	① 推進体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援が必要な子どもの実情や支援方法について全職員で共有し共通理解する。</li> <li>個別に応じた個別の支援計画を作成する。</li> <li>特別支援コーディネーターのアドバイスを受けながら、個別に応じた支援ができるようにする。</li> <li>関係機関と連絡をとりながら、定期的に保護者とも話し合いの場をもつようにすると共に、個人情報保護に十分留意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育支援・相談課、子どもセンターや療育施設など専門機関と連携を深め支援の仕方について学び、個々に応じた指導ができるように努めてきた。</li> <li>特別支援コーディネーターの訪問を受け個別の支援計画に基づいてスモールステップで個々に応じた支援が行えるように努めた。</li> <li>コーディネーター研修で得たことを、職員全体で考えることができるよう伝え合い、相互理解のもと適切な指導に努めた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども一人一人の課題について、職員が共通理解のもと指導にあたるようにできたかどうか。</li> <li>支援を必要とする幼児が多く、支援員だけでは対応しきれない場合も多かったが、職員同士協力し合い適切な支援ができるよう取り組むことで、子どもが安心して生活できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、一人一人の子どもの特徴を見極める力量を身に付けるため、研修会等に参加し、自己研鑽に努める必要がある。</li> <li>特別支援教育コーディネーターの活用を行い、支援を必要とする子どもを中心にクラス運営ができるようにしていく。また、学期ごとに目標達成度や課題はどこにあるかを評価しながら次年度につなげていく。</li> </ul>
		② 個々に応じた特別支援教育の内容					
		③ 指導方法の工夫改善					
		④ 家庭との連携					
		⑤ 関係機関との連携					

(令和7年度)  
自己評価書

園番号	園名
703	左京こども園

703左京こども園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
Ⅱ 園 経 営 に 関 す る も の	(1) 組織運営	① 園長のリーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の教育ビジョンや園経営を伝え、リーダーシップを発揮すると共に、職員一人一人の指導力が最大限に発揮できるようにする。</li> <li>円滑な園運営のために、職員の資質向上を目指し適正な配置と園務分掌の分担を行い、業務改善に取り組む。</li> <li>職員同士十分なコミュニケーションを取り、協力・協働して課題解決に取り組む、職員一人一人が生きてやりがいをもって業務に取り組めるような職場の環境づくりに努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の教育ビジョンを作成し、年度当初に本年度の取り組みについて、共通理解が図れたまた、研究主題について職員で話し合いを重ね、子ども理解や環境づくりに繋げることができた。</li> <li>日々の朝礼や、随時連絡、報告相談をできる体制を取ることで、全職員で様々な事柄に共通理解し取り組みを進めることができた。</li> <li>計画的に職員一人一人との面談を実施し、職場のよりよい環境づくりの構築に努めた。</li> <li>保護者アンケートは100%の回答率で、80%の満足度を得ることができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員で園ビジョンを共有し園長のリーダーシップのもと取り組むことができたかどうか。</li> <li>職員が協力し合って保育できているか、また各自が担当した役割を果たすことができているのかを、見直しながら取り組むことができた。</li> <li>園務分掌を明確にし、一人一人の業務量、それにかかる時間を把握しつつ、協力体制がとれているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きクラス担任、預かり保育担当など役割がわかれているので、報告、連絡、相談を密に行い、園の職員の一員として一人一人が意識をもって取り組んでいくようにする。</li> <li>園務分掌が的確に行われているかどうか職員間で確認し、常に報告・連絡・相談を行い、職員同士の連携がとれる環境づくりを構築する。</li> </ul>
		② 園経営目標・方針					
		③ 職員の適正配置と運営への参加意識					
		④ 園務分掌等の連携					
		⑤ 会議の運営と位置づけ					
		⑥ 会議の結果					
		⑦ 職場の人間関係					
		⑧ 園評価の実施					
(2) 研究・研修	① 資質の向上をめざした組織的・計画的な園内研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内研修や公開保育など保育実践研究を実施し、指導や適切な援助の在り方を相互に研修し合い、保育実践に活かせるようにする。</li> <li>園外の研修やリモート研修に自主的・意欲的に参加する。また、学んだことを伝え合い、共有し実践に活かせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園外研修やリモート研修に職員が意欲的に参加し自身の資質向上に繋げることができた。</li> <li>園内の研修を計画的に進め、研究主題のテーマに基づいた子どもの見方や取り組みについて、職員間で話し合うことができた。</li> <li>クラスごとに公開保育を行い、指導案の書き方・支援の仕方・環境づくりなどについて学び合うことができた。職員一人一人の課題や強みが明らかになり保育の質の向上に繋がっている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内研修、園外研修、公開保育で学んだことを保育に活かそうとする意識をもち実践につなげることができたかどうか。</li> <li>悩みや課題に対し、職員間で共有し解決策を提案し合えたか。</li> <li>研修を積極的に受けられるように啓発したり環境を整えたりすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員が資質向上を目指して研修に参加し、自己研鑽できるような体制をつくっていく。</li> <li>園内研修の内容や計画をたて、進めていく。</li> <li>園内研修の中で多角的な視点で子どもの遊びの見取りを行い、継続した話し合いをしていきたい。</li> </ul>	
	② 保育改善を目指した保育研究・実践の実施						
	③ 園外の研修への積極的参加						
	④ 園外研修内容の共有						
	⑤ 研修成果の普及						
(3) 安全管理	① 安全計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全管理マニュアルを基に、安全計画、防災計画を立案し、職員間で共有する。</li> <li>あらゆる場合を想定しての、危機管理マニュアルを再確認し、子どもの命を守る対策を十分にとる。</li> <li>月1回、様々な場面を想定した園内の避難訓練を行う。また、地域の自主防災防犯部会に月1回PTA役員と共に参加し連携を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの安全確保のための適切な職員の体制や対処の仕方について話し合い共通理解した。</li> <li>通園バス乗車児を対象に・バスの置き去り防止訓練、またクラスごとに引き渡し訓練を実施した。</li> <li>警察や指導員・女性防災クラブと連携し、交通安全教室や防犯教室・防災訓練を実施した。</li> <li>年間計画に基づき、様々なケースでの避難訓練を実施し、適切な避難の仕方が身に付くようにした。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの安全確保のための職員の意識向上を目指し、災害時の職員の動線について全職員で確認し適切に動けたかどうか。</li> <li>子どもが自分の身を守るために必要な安全管理について分かりやすく知らせるように努めた。</li> <li>地域や関係機関と連携できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理意識を全職員が共有できるようにし、安全対策を確かなものにしていく。</li> <li>園環境を整え、園児のケガの防止に努める。</li> <li>安全管理についての情報を共有し、早期に対応できるようにする。</li> </ul>	
	② 防災計画の立案						
	③ 危機管理体制の整備						
	④ 安全指導の工夫改善						
	⑤ 家庭との連携						
	⑥ 関係機関との連携						
(4) 保健管理	① 保健計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康で安全な生活に必要な習慣や態度が身に付くよう、家庭との連携を大切にしながら指導に努める。</li> <li>心のケアが必要な幼児や保護者については、思いを十分に受け止め関わっていく。</li> <li>感染症に対する注意事項や正しい知識を残職員で共通理解する。また、園医や関係機関との連携がとれるようにする。</li> <li>アレルギー対応を職員間で共有し、毎日毎回頭で確認し、徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健指導や健康管理に努め、園児が自分の身体の安全や健康を意識しながら必要な習慣が身に付くように促した。特に手洗い・うがい等丁寧に指導することで、予防に向けての意識も高まった。</li> <li>ナフス、幼保子ども園課等と連携し、衛生管理とアレルギー対応に取り組むことができた。</li> <li>感染症対策に関して、職員間で共通理解し予防や感染拡大防止に努めることができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが自分の健康について意識をもてるように、指導方法を工夫することができたか。</li> <li>感染拡大防止に向けて継続的に取り組みを行った。</li> <li>食物アレルギーへの対応についてマニュアルに基づいて行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児、職員の健康管理、安全管理に常に心がける。</li> <li>今後も関係機関と連携して、心のケアや健康づくりの推進・管理を行う。</li> <li>園児や保護者の心身の健康について相談しやすい雰囲気づくりをする。</li> </ul>	
	② 心のケアや健康相談の体制の整備						
	③ 健康観察、健康管理能力の育成						
	④ 関係機関との連携						
	⑤ 屋食の衛生管理						
(5) 地域との連携	① 園情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の会合に参加し、園の取り組みについて積極的に伝え、理解していただけるよう努める。</li> <li>地域や校区内の関係機関とつながり、子どもの姿を共有し話し合う機会をもつ。</li> <li>園だよりやクラスだより、園掲示板やホームページ等で園児の様子や取り組みを知らせる。</li> <li>年3回の評議委員会を開催し、取り組みを参観していただくと共に、評価を仰ぐ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の様子をコモンやホームページ、園内外の掲示で情報発信し保護者や地域との連携に努めた。</li> <li>地域連携の取り組みとして新たに5歳児の活動をとり入れ、近隣のこども園、小学校、中学校、高校、福祉センターとも交流をもつことができた。</li> <li>評議員会や運営委員会、地域教育協議会で子どもの様子を伝え、園運営についても話し合うことができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の保育内容や子どもの園での生活や活動の様子を適切に情報発信できているかどうか。</li> <li>地域との連携を大切に、子どもにとって必要な経験や活動を意識しながら検討して進めることができたかどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ等の更新による情報発信の周知が不十分であるため、引き続き取り組んでいきたい。</li> <li>今後も地域との交流を大切にしながら、子どもの育ちにつながる取り組みの精選に努めていきたい。</li> <li>全体的な計画作成と活動の振り返りを丁寧に行い、次年度に繋げていきたい。</li> </ul>	
	② 園(保育)公開						
	③ 小学校との接続・連携						
	④ こ幼保との連携						
	⑤ PTA・保護者会の活性化						
	⑥ 地域教育協議会との連携						
	⑦ 学校関係者評価の実施						
(6) 施設・設備	① 保育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の美化清掃に努め、危険箇所・修理箇所の整備をする。</li> <li>遊びの環境の安全点検を定期的実施する。</li> <li>園内の換気、温度・湿度管理などを行う。</li> <li>施設・設備の管理を適切に行い、修繕が必要であれば関係機関に要請する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設や遊具は定期的に点検を実施すると共に、不具合が生じた際は速やかに対応し、環境整備を実施したり、必要に応じて修理や修繕を関係機関に依頼した。</li> <li>日々気づいたこと、物を報告し改善に努めると共に、月1回違う目で見て遊具点検を実施できた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児にとって安心・安全で過ごしやすい環境になっているか常に見直しながら保育環境を整えることができていくか。</li> <li>危険箇所の把握と改善が速やかに行われているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒヤリハット事例を共有し、けがの再発防止や子どもの行動を把握し、事故防止に努めていきたい。</li> <li>今後も安全性を確保するため、定期的な点検を徹底していきたい。</li> </ul>	
	② 施設設備の有効利用						
	③ 施設設備の管理						
(7) 情報管理	① 公文書の收受・保管	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の管理については、全職員で共通理解をし、万全を尽くす。</li> <li>個人情報の取り扱いには十分に留意し、管理と保護は徹底して行う。</li> <li>情報管理の研修会に参加し、職員の意識向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報の漏洩、記録媒体の紛失が起こらないように、細心の注意をするように全職員に注意喚起し、管理の徹底を図った。</li> <li>重要書類やカメラ、データ等の施錠管理や保管場所が明確にできている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・保護者・職員の個人情報を適切に管理しているか。</li> <li>情報漏洩対策、記録媒体の持ち出しや紛失についての職員の危機意識が高まってきているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報管理について職員が危機意識をもって職務を遂行していきけるように、常に意識を高めていく必要がある。</li> </ul>	
	② 公文書の作成						
	③ 個人情報の管理・保護						
	④ 情報の収集						
	⑤ 電子媒体の管理						